

現在、支援の現場で困っていること、課題と感じていることがあればお書きください。

○人員や、地域資源の不足

- ・新規のサービス利用の希望があっても、計画作成を受けるゆとりがないため速やかに対応できず、申し訳ないが依頼を断っている。時間を要すると本人の意欲の低下や気持ちのゆれが生じてしまうこともある。
- ・医ケア対応の看護師が不足している。
- ・市内にGHが少ない。施設もなかなか入所できない。

○市内の事業所同士のつながりが少ない

- ・事業所と相談支援専門員の支援の方向性が一緒でないと良い支援ができないため、情報共有できる場が必要であると感じている。
- ・各事業所の特色を知りたいので、見学等の機会があると良い。
- ・児の事業所と、者の事業所とのつながり、縦の連携がとれると嬉しい。

○外国籍（しゃべれない方を含む）の方とのコミュニケーションの取りかた

- ・しゃべれない方への支援方法。
- ・外国籍の方とのコミュニケーションがとれず、何が必要かくみ取れず、支援の方法がわからない。
- ・お子さんも、保護者も日本語の理解が乏しい。文化・習慣等の違いもあり、なかなか理解してもらえない。また、支援員も見つからない。

○精神障害者についての理解

- ・精神障害の方を受け入れてくれるヘルパー事業所が少ない。
- ・相談の中でも、精神障害についての理解が難しい。

○支援員の質の向上

- ・世代が違くと、支援の方向性や質も違ってくる。
- ・専門知識がないまま支援にあたっており、自分の支援の仕方が良いのか不安に思う。
- ・経験不足であるのに、現場の采配や指導を求められ不安である。

○家族支援

- ・事業所や学校へ行くことができなくて、保護者のレスパイトが足らず、子どものケアができていない。
- ・居宅生活についてどこまでアドバイスしてよいかわからない。
- ・家族が夜ぐっすり眠れる生活づくりをどのように進めていけば良いのか。保護者の強い要望を感じるが民間事業所では対応に限界がある。
- ・関係機関が様々なアプローチをかけても、家庭の考えと一致せず支援の方向が定まらない。
- ・引きこもり、強度行動障害に該当する児童への、親のレスパイトを含めた支援方法。

### ○関係機関との連携

- ・相談員を通して、保護者と医療機関との連携のアプローチが出来ると良い。
- ・保護者と、園、学校、サービス事業所、病院（医療）等、関係機関との交流不足が課題と考えているので連携をとる方法を知りたい。
- ・行政、相談員、病院、事業所等に相談した時に、言われることが違ったりするので、各機関が連携しているとありがたいと思う。

### ○保護者（家庭）との連携

- ・病院に行かない、8050問題等、問題を抱えている家庭が多い。
- ・家族で介護するのが当たり前だと思っており、サービス利用できることが伝わらない。
- ・障害を持つ子の親は、“今”を見ていることが多く、5年後、10年後と先を見ることができてが、今日の話聞いて先を見据えていくことで、行政や関係機関を動かしていけると思ったので、将来のことを考えていけるよう、に声かけをしていきたい。
- ・学年があがり、進路・就労について保護者は悩んでいる。支援が必要なお子さんの進路を考える場があるといいと思う。

### ○その他

- ・利用者の高齢化に伴い、施設の機能では対応が難しくなっている。
- ・困りごとが相談先がわからず、事業所につながらない方の支援方法。
- ・事業所の内勤であるため、なかなか外に目を向けての活動が困難である。
- ・利用者にあった作業を見つけることができない。新たな作業の開拓が課題である。
- ・利用者が困っていること、課題を抽出する事が難しく、本人が希望する生活と、体制を合わせることが難しい。
- ・人との距離感や暗黙の了解など、目に見えないことを伝えるのが難しい。
- ・本人の思いを相手に伝えることが困難で、トラブルが起きてしまう。
- ・他児を怖がり気持ちが乱れる子がいる。怖がらないようにするにはどうしたらよいか。
- ・不審者対応。
- ・その方の困りごとだけでなくその方の後ろにいる多くの困りごとにも、町のひとつの資源として病院が向き合っていけたらと感じている。
- ・当事者の悩みを行政に相談しても、納得のいかない経過を繰り返している。

講演を聞いて「犬山市障害者自立支援協議会」で取り組める活動や、取り組んでみたい活動について具体的にお書きください。

○交流、情報交換の場がほしい

- ・楽しくおしゃべりしながら、事業所同士が交流できる機会をいただけると良い。
- ・就労に関する事業所の集いの場がほしい。
- ・支援者、当事者、家族を対象とした、事業所見学会。
- ・実際の医療現場、福祉現場の意見交換会や交流会。
- ・精神障害者が母親に依存しとても苦しんでいる。精神医療の現場を見に来てほしい。

○講演会・研修会等の開催

- ・児童期から行う権利擁護の講演会。どのような療育・支援方法があるのか知りたい。
- ・サビ管レベルの研修だけでなく、若手の育成やパートを含めた全職員を対象とした研修会。
- ・障害に対する理解が不十分な面がある。社内研修では限界があるので協議会で研修会があればいいなと思う。
- ・今後も今回のような形での研修会を開いてほしい。

○就労

- ・中学生・高校生が就労へ向かえる取り組みがあるといいなと思った。

○本人支援・家族支援

- ・本人を中心とし、家族へもう一步踏み込んだ支援体制も必要だと思った。若い職員や学生を巻き込んでいくのもよい。
- ・障害をもった家庭の兄弟に対する支援や、家族支援に関するケース検討会。
- ・学校を卒業した医ケア児はどのように支援されるのか。強度行動障害のある家族や、親の高齢化で今後ますます大変になっていくと思う。
- ・本心をどこまで聞き出せるのか等、本人の心のサポート。
- ・言葉・習慣の違い、外国籍の方への支援方法。

○地域連携

- ・重層も含め、個々の障害に対して地域での支援体制づくり。目の前の課題解決だけでなく、その後を見据えた地域での支援体制づくり。1人1人にチームでの巡回相談があると良いと思う。
- ・福祉サービス事業所がブースを出し合い、活動報告などをするフェスティバルの開催。
- ・町を歩きながら障害について考える、「子ども達との町歩き」を犬山でもやってみたい。

○その他

- ・明るく楽しく意見の出しやすい環境を整え、その意見を実行・実現できる取り組みをしていきたい。
- ・個別避難計画。

その他「犬山市自立支援協議会」の活動全般についてご意見・ご感想があればお書きください

○事業所連携

- ・ 普段の協議会や支援体制づくりへの取り組みが知れて、連携の機会を増やしたいと感じた。
- ・ 就労に関して、事業所や企業をつなぐ活動があったらいいと思う。
- ・ 事業所ごとのつながりが少ないと思うので、つながりができ場があると良い。
- ・ 事業所連携の一環として、他部会・複数部会での交流の場が、末端の職員や現場レベルで開催されるとありがたいと思った。
- ・ 医療的ケア児支援の充実を図っていききたいので、より連携強化をお願いしたい。
- ・ 横つながり、就労先へのつながりを大切に連携していきたい。
- ・ 病院から地域移行への受け皿の充実。

○情報共有

- ・ あげた課題について、どのように取り組みされているかフィードバックがほしい。
- ・ 個別支援者会議をもっと開いてほしい。

○協議会活動への参加

- ・ 活動・研修について十分催されているので、引き続き参加していきたい。
- ・ 他市町の方の意見を聞いたことがとても良かった。
- ・ 病院職員として初めて参加した。またこのような機会があれば参加していきたい。
- ・ 全体会には出席しており、研修会、勉強会などの報告は聞いている。時々はこのような場に参加させていただくと当事者の自分たちにも考えるいい機会になる。今後も、たくさんの方に参加してもらえる講演会・研修会・勉強会をどんどん開催してほしい。
- ・ 半田市の加藤様の講演、勉強になりました。他市での取り組みを知り、良いところを取り入れていければ良いと思った。
- ・ 現場の支援者の声を吸い上げて、部会の活動に活かしている。半田市の丁寧で細やかな活動を参考にしながら、取り組んでいくといいのではと思います。

○地域連携

- ・ 地域に何が必要か、地域の人たちも交えて考えられると良いと思います。困っている時にすぐに動けるチームであってほしい。
- ・ 障害や福祉に興味のない方に、もっと身近に感じたり考えられる場があると良いと思いました。

○その他

- ・ 見えない部分を理解し、知り、アプローチする思念の強さがとても素晴らしいと感じた。